

8月臨時会・9月定例会から…………… P 2
 決算特別委員会…………… P 3～P 4
 一般質問…………… P 5～P 9
 議案質疑…………… P 9～P 10
 予算特別委員会…………… P 10～P 11
 常任委員会…………… P 12
 議会報告会…………… P 13
 編集後記・請願等…………… P 14

渡部市長 次期市長選出馬へ

一般質問で活発な議論展開

● 一問一答方式導入 ●

8 月 会 臨時会 9 月 会 定例会

平成24年8月臨時会は、8月8日に招集され、1日の会期で開かれました。平成24年9月定例会は、9月6日に招集され、26日までの21日間の会期で開かれました。今定例会初日には、8月臨時会で継続審査としていた病院、上水道及びガスの各事業会計決算について認定しました。

また、平成23年度男鹿市一般会計及び各特別会計決算の認定など7議案が市長から提案され、審議の結果すべて全会一致で可決・認定するとともに、6月定例会で継続審査としていた請願第5号についても、全会一致で採択されました。

また、最終日には3件の人権擁護委員の推薦について「異議なし」とするとともに、議案案1件を可決し閉会しました。

8 月 臨時会

9 月 定例会

● なまはげ館改修工事締結

さらなる魅力アップと集客力の向上を図るため計画された、なまはげ館改修建築工事が発注に至り、平成24年7月19日に条件付き一般競争入札の結果、男鹿市船越字内子294番地1616、藤田建設株式会社代表取締役藤田隆一が1億9897万5000円で落札したので、本契約が締結されました。

● 住リフォーム追加補正

補正予算(第3号)では、住リフォーム助成事業費補助金を措置したもので、当初予算5000万円に、さらに5000万円を追加したもので、補正後の予算総額を178億1580万円としています。

● 「海フェスタおがく海の祭典2013 in 秋田」に決定

第10回海フェスタ実行委員会は、8月22日男鹿市民文化会館において、設立総会及び第1回総会が開催され、名称を「海フェスタおがく海の祭典2013 in 秋田」、開催期間は、平成25年7月13日から7月28日までの16日間に決定されました。

● なまはげ館整備事業と観光

なまはげ館改修と里暮らし体験塾新築関連の工事6件が発注済みで、完成後は、教育旅行などで体験学習ができる魅力的な観光拠点として、集客力の向上が図られます。観光に係る宿泊では、震災前の平成22年度との比較で、

6月が4905人の減、7月が4978人の減という報告を受けたが、宿泊客数増加にもつながるとされるなまはげ館整備事業に期待が広がります。完成予定は、里暮らし体験塾が12月10日、なまはげ館が平成25年3月25日となっています。

● 男鹿みなと市民病院の経営状況について

経営健全化計画では、平成24年度の黒字化を目指していたが、約6600万円の純損失の見込みとなっています。今後の見通しは、現在、出身大学で研修中の内科医1名が、来年4月に復帰することから、医師の充足による医業収益向上などにより、平成26年度には黒字に転換できるよう努力するとしています。

● 一問一答方式導入

今年度から一般質問に、従来の一括質問・一括答弁方式に加え、一問一答方式が導入され、今定例会において、新たな方式による質問もみられました。この一問一答方式は、市政の課題に関する論点及び争点を明らかにし、市民にとっても分かりやすい議会運営とするためのものです。また、当局にも反問権が与えられ、より白熱した展開が期待できます。

可決した主な議案

8 月 臨時会

● (補正予算)

一般会計予算(第3号)

● (その他)

なまはげ館改修建築工事請負契約の締結

● (議員提出議案)

米海兵隊垂直離着陸機MV22オスプレイの配備と低空飛行の反対を求める意見書

9 月 定例会

● (決算認定)

平成23年度男鹿みなと市民病院事業会計決算

平成23年度男鹿市上水道及びガス事業会計決算

平成23年度男鹿市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

● (補正予算)

一般会計予算(第4号)

他1件

● (条例)

男鹿市保育園条例の一部改正

● (その他)

人権擁護委員の推薦

木元正子(小深見)
加藤金一(男鹿中)
古仲宗雲(北浦)

● (議員提出議案)

意見書1件

決算特別委員会

男鹿市議会だより

No.33 24.11.1

【概要】 病院事業の財政状況は、総収益23億9449万4771円、総費用24億9646万6692円となったもので、この結果、単年度収支で1億197万1921円の純損失となりました。経営状況は、単年度収支で前年度より3968万6591円の増益となり、不良債務については1億9427万707円で、経営健全化計画より4903万6293円の減となったものです。上水道事業会計では、収益的収支において収入では、6億1811万6467円、支出で5億8849万2332円となり、この結果、単年度収支で2962万4135円の純利益となりました。ガス事業会計では、収益的収支において収入では、5億8171万315円、支出で5億6093万8101円となり、この結果、単年度収支で2077万2214円の純

男鹿みなと市民病院事業会計
男鹿市上水道及びガス事業会計

決算特別委員会

8月臨時会では、平成23年度の病院、上水道及びガス事業会計決算について審査するため、議員9人で構成する決算特別委員会を設置、付託し、継続審査としました。その後開催された委員会では、審査の結果、いずれも全会一致で認定しました。決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

決算特別委員

戸部幸晴	三浦桂寿	畠山富勝	吉安直儀	蓬田健次郎	中田信昭	井田謙三	土井文彦	船橋金弘
------	------	------	------	-------	------	------	------	------

(◎委員長 ○副委員長)

利益となりました。 病 院 経営健全化計画 について

【質疑】 みなと市民病院の経営状況が大幅に改善されない主な要因と、今後の見通しについて伺います。

【答】 病院経営については、みなと市民病院の医療体制を維持することを前提に、良質な医療を提供し、一方で現在の医師や看護師に過度の負担をかけない中で医師、看護師を確保しながら経営改善を進めていくことを目指しています。また、平成27年度末で不良債務を解消する計画で進めていますが、現状では本決算で1億9400万円程の不良債務があり、今年度から平成27年度までの4年間、単年度資金収支において毎年度約5000万円以上のプラスを目指して取り組んでいます。収益の増収と費用の節減を図らなければ不良債務を解消する

ことはできませんが、眼科及び整形外科での手術件数、泌尿器科での人工透析患者数が順調に推移していることと、今年度から材料費の節減に重点的に取り組んでいることから、計画の達成は可能であると考えており、なお一層努力してまいります。

ジェネリック医薬品の 取組みについて

【質疑】 材料費の削減で、ジェネリック医薬品に対するこれまでの取組みと今後の見通しについて伺います。

【答】 材料費削減については、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の切替えによるものではなく、病院の購入単価を引き下げるための取り組みを行っているものであり、ジェネリック医薬品については、病院の薬事委員会での切り替えを推進していくということで意思統一がなされています。病院の採用医薬品のうちジェネ

リック医薬品の品目数の割合は約8・3%となっており、今後も医師の協力を得ながら、積極的に取り組んでまいります。

■ジェネリック医薬品Ⅱ新薬（先発医薬品）と同じ有効成分で効能・効果の等しい医薬品で、先発医薬品の特許が切れた後に、国の承認のもとに新たに他社から製造販売されるため、後発医薬品とも言われます。薬の価格は先発医薬品と比べて大幅に安いのが特徴です。

企業局 未収金の対応策 について

【質疑】 未収金の徴収体制や、今年度において未収金が多くなった要因と今後の対策について伺います。

【答】 平成20年度から供給停止業務を委託したことにより、ある程度の成果は得ています。が、滞納者数及び滞納額が増加傾向にあることから、夜間の電話による督促なども実施しています。さらに、平成24

年度には、職員1名を増員し、収納の強化等に努めています。また、本年7月末現在の平成19年度から23年度までの5年間の未収金額は、水道・ガス合わせて616万8922円となっています。

給水及びガス供給戸数 減の要因について

【質疑】 給水及びガス供給戸数が前年度と比較して減少した主な要因について伺います。

【答】 水道事業では、他市への転出など人口減少によるものであり、ガス事業では、既設住宅のオール電化への切替えのほか、新築住宅においてオール電化等、他エネルギーを選択したことによるものと考えられます。

企業局と下水道課の 統合について

【質疑】 企業局と下水道課が統合された場合のメリット、デメリットについて伺います。

【答】 平成26年度からの企業局と下水道課との統合に向け、現在協議を行っています。が、メリットとしては職員のスキル・メリットなどが考えられます。また、デメリットとしては、下水道事業は独立採算性にはなり得ないものであり、市からの補てんがなければ運営出来ない事業と考えています。

一般会計及び
各特別会計決算特別
委員会

9月定例会では、平成23年度一般会計及び各特別会計決算について審査するため、議員8人で構成する決算特別委員会を設置し、審査の結果すべて全会一致で認定しました。

決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

決算特別委員

佐藤 巳次郎
三浦 利通
小松 穂積
高野 寛志
佐藤 誠勝
米谷 勝紀
○古 仲 清 彦
◎中 田 敏 彦

(◎委員長 ○副委員長)

【概要】

平成23年度一般会計決算については、歳入179億9530万8840円、歳出175億29万8558円となったもので、歳入歳出差引残額は、4億9501万282円となりました。このうち繰越明許費等の財源として1億6876万677円を繰り越したことから、実質収支額は3億2624万9605円となりました。

経常収支比率について

質疑 経常収支比率が前年度と比較し4・7ポイント悪化した理由とその改善策について伺います。

答 平成23年度の経常収支比率は91・8%で、前年度と比較し4・7ポイント悪化しています。悪化の主な要因は、八郎湖周辺清掃事務組合と男鹿みなと市民病院の起債の償

指定管理者制度の
検証について

検証について

質疑 指定管理者制度導入後の成果及び検証とあわせ、市民を交えた外部の検証について伺います。

【答】

指定管理者制度を導入している施設については、具体的な運営は担当部署に委ねていますが、条例に基づき、必要に応じて業務状況等について報告を求めるとことや、調査することも可能となつていくことから、毎年度管理業務の状況などの事業報告書を提出させています。今後、他の公の施設についても指定管理者制度導入の検討が必要となると考えていますが、制度の目的である民間経営感覚の導入による効率的な施設運営の効果を加味する必要があると考えており、これまでの実態をみながら、新たに導入する場合の判断材料にしたいと考えています。また、今後は外部評価も必要になるものと考えています。

日本海花火の
補助金について

補助金について

【質疑】

第9回日本海花火の収支状況及び補助金交付と剰余金の考え方について伺います。

【答】

平成23年度の収支状況は、収入では3781万690円で、このうち駐車場料金の366万4000円、船川港築港100周年記念事業に伴う秋田銀行からの特別寄付金200万円と協賛金が主なものです。支出では、2979万1533円で、差引残額801万9157円を翌年度へ繰り越したのですが、昨年の東日本大震災による経済の低迷から、企業協賛の落ち込みが予想されることから、平成24年度の財源として有効に活用してまいります。

介護施設の
入所状況等について

入所状況等について

質疑 各種介護施設の入所可能者数及び入所状況と、今後の介護施設の建設予定について伺います。

て伺います。

答 本年4月1日現在の宿泊を伴う施設状況については、ショートステイが14施設で、定員は施設により8人から42人、入所可能者数349人、入所者258人。グループホームは6施設で、定員は9人または18人、入所可能者数81人、入所者77人。小規模多機能型居宅介護施設は1施設で、定員20人に対し、入所者が16人。29人以下のミニ特養は2施設で、定員は29人と20人、入所可能者数49人、入所者41人。特別養護老人ホームは3施設で、定員は1施設が80人、2施設が50人、入所可能者数180人、入所者179人。介護老人保健施設は2施設で、定員は2施設ともに100人、入所可能者数200人、入所者191人。介護付有料老人ホームは1施設で、定員は50人、入所者が38人となっています。今後の施設建設予定としては、第5期介護保険事業計画において、待機者解消のため新規に30床規模の特別養護老人ホーム1施設を見込んでおり、現在、市内の社会福祉法人が平成25年度の開設を目指して進めています。

一般質問



三浦利通 議員

来春の市長選への 対応について

質 この3年半、渡部市長は元氣な男鹿づくりを目指し、今、男鹿にあるものを生かして新しいものを作っていくということを基本に据えて、様々な事業・施策を自ら先頭に立ってやってきました。中でも、財政運営・規律の面では、健全性を高め、また、重要課題となっている男鹿みなと市民病院の経営改善においては、健全化計画の達成には至っていないものの、かつての4億円から5億円の赤字という最悪の状況から抜け出し、将来の健全経営の道筋を見出しています。渡部市長の公約実行に対する基本的な姿勢認識と、

成果における自己評価 総括について伺います。
また、各種課題が残されている中、来春の市長選への対応はいかにしようとしているのか伺います。

答 公約は政策の方向性を示すものであり、目標であると認識しています。地場産業の振興、健全な自治体経営、男鹿みなと市民病院の経営健全化、教育の振興、子育て支援などを掲げ、実行してまいりました。

また、「チーム男鹿」の仲間をさらに増やし、輝く男鹿を目指して、引き続き市政運営を担わせていただきます。

過疎対策について

質 今や人口減、少子高齢化、経済の低迷状況の中、全国的に過疎問題は地方の大きなテーマ、問題化しています。しかし、過疎ならではのまちづくり、そこに住む人たちが知恵を出し、汗を流すことにより、生き生きと暮らせるそん

な過疎地、地域づくりは可能と考えています。過疎問題に市長は、どう対応し安心して住める地域を築いていこうとしているのか。集中的に取り組む専門の課・室を設けるべきではないか。

答 少子化・高齢化対策を最重要課題として捉え、教育の充実、観光の活性化を図り、様々なイベントやスポーツ大会を開催し、交流人口を増やすべく、男鹿を発信してまいりたい。専門部署の設置については、全ての部署で連携を密にして取り組んでいきたい。



佐藤巳次郎 議員

住宅リフォーム助成の継続を 店舗・事務所への助成を

質 住宅リフォーム助成事業は、住環境の向上・整備の側面だけでなく、地域経済の活性化・雇用にも大きく貢献するもので、利用者側、施工業者側からも大変喜ばれている。これまでの実績、経済波及効果について伺います。

市内経済の活性化・雇用・税収に貢献している事業を来年度も継続していく必要があると考える。また、店舗及び事務所等や廃業した空き店舗の再利用支援のための助成も必要と考えるが、市長の答弁を求めます。

答 平成22年度から本年8月までの実績は、補助金総額約2億9000万円、工事費総額約21億2300万円で、直接効果は約7・3倍、経済波及効果は県の試算方法で、約33億3000万円、11・4倍と推定され、効果が図られたと考えています。来年度については、市内経済の状況、県

女性・若者の 育成対策について

質 地域を変え、地域を担っていく上で、女性や若者の役割が非常に大きいと思われる。もっと行政委員会等への積極的な女性の登用を図るべきではないか。さらに、女性や若者の組織に対して、育成・支援策の充実を図っていくべきではないか。その考え、対応はどうか。

また、増加している結婚しない30代、40代に対する結婚支援策について、市としてどう取り組もうとしているのか

伺います。

答 市では、女性の地域組織への積極的な参画の促進や女性農業者の経営能力向上研修、各種組織への運営助成・育成に努めています。さらなる支援策の検討をしてまいります。また、若者は地域の希望であり、今後とも地域おこしの企画や、様々な活動に対し、支援してまいります。独身の出会い・結婚支援については、官民一体となつて広域的に取り組んでいます。出合いのイベント等、事業活用の周知を図ってまいります。

の動向を見極め、新たな助成については、調査・分析してまいります。

中学生も医療費無料化を

質 子育て世代の所得は年々減少している中、民自公三党合意で、昨年子ども手当の減額や、年少扶養控除の廃止による所得税・市県民税の大幅増税と、これらによる保育料の引き上げが今年から実施され、生活は四苦八苦に追い込まれている。私たちは、子どもの医療費無料化運動を進め、秋田県では、本年8月から小学校6年生まで無料化

一般質問

が実現できました。中学生以下
の年少扶養控除の廃止による
市民税の増額分が3900
万円になるとしています。中
学生の医療費を無料化すれば
いくらかと見込んでいますの
か伺います。

同じ義務教育でありながら、
中学生を有料とすることはあ
ってはならないことであり、
来年度から無料化すべきと考
えるがどうか。

〔答〕 中学生の医療費の試算は、
年間1人2万4000円とし
て、市の負担額は1339万
2000円となります。

子育て支援は医療費だけで
はなく、子育て応援米支給事
業や住宅リフォーム助成事業
などを行っており、中学生ま
での助成拡大は困難です。

市長の所得・資産の 公開内容について

〔質〕 平成23年度の市長の所得
・資産に関する報告が7月に
公開されている。渡部市長の
給与所得、その他の所得、資
産のほか、事業所の役職名も
具体的に答えていただきたい。
また、市長には4年間で退

職金として、約2000万円
支払われる。市民感覚からす
れば余りにも多額と考えるが、
市長の見解を伺います。

〔答〕 平成23年12月31日現在、
土地1万137・34平方メー
トル、建物826・26平方メ



安田健次郎 議員

消費税について

〔質〕 参議院の審議で明らかに
なった三位一体改革の中身は、
年金や社会保障に6・5兆円、
財政赤字分に2兆円、あと5
兆円は大型公共事業というこ
とで期待した経済対策は20
20年までなど、中身はやつ
ぱり大金持ちや大企業のため
の消費税の引き上げです。こ
うしたごまかしの庶民いじめ
の悪税でも市長はやむを得な
いという考えでしょうか。市
民の責任者として男鹿市独自

1トル、預貯金500万円、
株券が8銘柄44万194株、
普通乗用車3台、借入金50
00万円となっています。所
得では、秋田海陸運送(株)の配
当所得として228万395
0円、給与所得は男鹿市と秋

の行動など起こす必要がある
と思うがどうか。また、市に
関わる病院経営や発注工事、
物品購入にも負担が増えるが
どの程度の金額となるのか。

〔答〕 全国市長会からは、地方
単独事業を含めた社会保障サ
ービスに係る財政需要を的確
に反映し、財政の充実強化を
図ることを要望しています。
私としては、法案が成立して
おり、これらの要望が実施さ
れるよう注視してまいります。
市の消費税額は23年度分につ
いて一般及び特別会計と公営
企業会計全体で3億2200
万円です。

農林漁業の振興について

〔質〕 ①今年、農水省が公表し
た2010年度の米や麦の生
産費調査によると、稲作農家
時給は1990年代は最低賃
金の倍でしたが、現在はマイ
ナス468円の赤字になって
いる。農家の実態は理解して
いると思うが、今後の農業振

田海陸運送(株)で1240万9
993円、上場株式等の配当
所得が31万9944円となっ
ています。また、秋田海陸運
送(株)の取締役特別相談役を
務めています。

退職金については、秋田県

興をどう考えているのか。②
人・農地プラン、青年就農給
付金、遊休地支援及び団地化
等について伺います。③林業
については、観光景観も含め
男鹿の美林を守るためにも、
どんな対策をしていくのか。

市長は間伐材などの有効活用
をあげているがその実績はど
うか。④ナラ枯れ対策につ
いても急ぐ必要があるのでは
ないか。⑤漁業対策も従来のま
まだと地域が崩壊する不安が
ある。もっと対策を強化する
必要があると思うし、県の未
来づくり協働プログラム等は
活用できないのか。

〔答〕 ①農業について新規需要
米の作付拡大や転作等による
計画的な生産やメロン、和梨
施設野菜、花卉等、収益性の
高い複合作物による産地づく
りなどを推進します。②人・
農地プランについては、アン
ケートを実施中です。青年就
農給付の対象者は現在3名で
す。遊休地支援は今後も推進
しますが、団地化は年々減少

市町村総合事務組合の条例に
より定められており、支給率
は加入市町村で同率となつて
います。

しては、間伐材の施業を行い、良
質材の育成、温暖化や水源涵
養、景観保全など森林の多
面的機能を確保し、将来に
引き継ぐことが肝要であると
考えます。間伐材は平成21年
度から3年間で6382立方
メートルを市内業者に搬出し
ています。④ナラ枯れ対策は、
被害木を伐倒薫蒸処理してい
ます。⑤漁業については、種
苗放流や養殖、魚礁の設置に
努め、県と連携を図りながら
栽培漁業等を推進してまいり
ます。協働プログラムにつ
いては、ジオパークを核とした
観光振興策を準備しています。

夕陽温泉WAO等について

〔質〕 夕陽温泉WAOや湯治ラ
ンドおがについて、いろんな
意見が寄せられている2施設
の位置付けを明確にすべきで
はないか。

〔答〕 経費が負担となっており、
当面は維持管理に努めます。

一 質



米谷 勝 議員

防災行政無線について

質 防災行政無線が聞こえにくいとの苦情・要望など地域別に何件来ているか。また、難聴地域の実態把握状況と難聴地域解消に向けての対策について伺います。

答 8月末現在、船川地区7件、船越地区2件、脇本地区3件、男鹿中地区2件、北浦地区3件、戸賀地区1件、五里合地区3件の合計21件となつています。聞こえにくいという指摘があった場合は、その都度職員が現地調査し、ポリウムやスピーカーの方向調整等の対策を行っており、さらに、放送内容を電話で確認できるテレドームシステムや、メール配信サービスの活

用をお願いしているほか、132世帯に個別受信機を貸与し利用いただいています。

小中学校の耐震化について

質 小中学校の耐震化について、どのように取り組んでいるのか伺います。

答 耐震化が必要な学校は、校舎と屋内運動場の船川第一小学校、弘戸小学校及び男鹿東中学校、校舎のみの五里合小学校及び船川南小学校の5校です。今後、関係者及び議会と協議しながら、平成27年度までの耐震化の完成に向けて取り組んでまいります。

地上デジタルテレビ放送について

質 アナログ放送は受信できていたが、デジタル放送では受信できなくなった難視聴地区の対策状況について伺います。

答 地上デジタル放送が受信できない、もしくは不安定な受信状態となっている世帯は、9地区278世帯です。滝川、杉下、山町、町田、三ツ森及

び島田の6地区238世帯は今年度中に完成。田谷沢、田中及び馬生目の3地区40世帯については、デジサポ秋田が設計を行っており、内容が確定次第、地元との協議に入る予定です。

街灯等LED化の促進について

質 早期に街灯などのLED化に取り組むべきと考える。ぜひ、一般家庭用LED照明の買い替えを行う市民に対し、購入費補助制度を検討できないか伺います。



土井文彦 議員

男鹿市のまちづくり 中心街の空洞化について

中心街は高齢化で、空き家や空き地が目立ち、道幅も狭く、救急車・消防車・自家用車も入れない箇所があり不便。**質** 市長はこの空洞化をどう捉えているのか伺います。

答 高齢化のため、住民の減少や道路の一部も狭隘な状況

答 一般家庭への購入費補助を検討する前に、まずは、各町内の街灯と公共施設のLED化を推進してまいります。

男鹿半島ジオサイトについて

質 ①生鼻崎ジオサイトには脇本城跡があります。文化財の保護・管理の充実を図るべきと考えるがどうか。

答 ①脇本城跡は文化財保護法に基づき、文化庁や県の指導のもと、平成25年度に脇本城跡調査整備基本計画を策定することとしており、この結果を踏まえて今後の活用の方を検討してまいります。

質 ②看板・通路などジオサイトの環境整備については、県市町村未来づくり協働プログラムに取り入れて来年度実施する考えです。海岸清掃については、地域の協力をいただきながら進めていますが、今後

質 今後、区画整理をすべきと思うがご所見を伺います。
答 土地区画整理事業化は厳しい状況ですが、今後、市道の狭隘な箇所について調査し、部分的に改修可能か検討します。

質 船越・脇本地区は平地が多く、津波時に逃げ場が心配されている。区画整理の簡易的な施しで、道路幅の確保や空き地の有効活用をして、避難タワー設置の準備を進めるべきと思うが、ご所見を伺います。

答 場所や事業費の問題もあることから、来年度中に見直

しながら進めていますが、今後地域と一層の連携を図りながら取り組んでまいります。

しする防災計画の中で検討します。

若者は男鹿を背負って立つ力だ！ 若者の定住対策

若者の定着や転入促進などの定住対策で、結果を出すことが喫緊の課題である。

質 ここ数年の自然動態と社会動態について伺います。

答 平成19年から23年の累計では、自然動態で1747人減、社会動態は1390人減で、若者層は、平成17年と22年の国勢調査で15歳から29歳の人口が1216人の減となつています。

質 若者の人口減をどう分析

一般質問

しているのか伺います。

答 本年3月卒業の市内在住高校生230人の進路は、就職で市内22人、県内42人、県外40人、進学は県内64人、県外58人で4割が県外へ転出という状況であり、若者の人口減の契機は進学と就職によるものです。

質 若者層の定着を阻害する問題点は何か伺います。

答 若者層の定住のためには、雇用の場が必要です。

質 今までとった施策とその成果を伺います。

答 雇用奨励金制度、緊急雇用創出臨時対策事業、市単独市営住宅及び単独子育て市営住宅建設事業など、幅広く施策を展開してきました。

質 これからの施策内容と結果をどう描いていくのか伺います。

答 これまでの施策を引き続き推進し、若者の定住につながるよう努力します。

人工芝グラウンド 完成後の計画について

質 多額の予算を投じた人工

芝グラウンドだが、つくることとが目的ではなくどう生かしていくかが大切ではないか。

答 東北初の衝撃吸収性能を長時間維持できるシヨックパッド敷設の人工芝と総合運動



吉田直儀 議員

屋内運動場建築工事の 入札結果に対する疑問？

男鹿東中学校

質 この工事の入札において、落札した業者の価格と市当局が定めた調査基準価格（最低制限価格）が全く同額であった。3億円超の、この入札結果に対して、全く不思議でありません。一般質問が議会基本条例により一問一答方式でもできることから、この方式により逐次伺います。

私はまず、この質問の冒頭にて市長に対し、この結果の見解を伺います。

公園内で、サッカーやラグビーの公式試合ができるグラウンド2面がとれるなど、施設の利点を前面に押し出し、関係団体に各種大会やスポーツ合宿の利用を働きかけています。

答 入札にあたっては、予定価格を公表しており、また、男鹿市建設工事低入札価格調査取扱実施要領において公表しています。これらをもとに積算し、入札したものと理解しています。

質 何社の指名で、その業者名を伺います。

答 男鹿市内の建築一式工事に登録されているA級4業者で、(株)沢木組、三和興業(株)、藤田建設(株)、(株)清水組を指名しています。

質 入札方式について伺います。

答 電子入札による指名競争入札です。

質 電子入札方式とは。

答 国や地方自治体が発注する工事をインターネット上で行うシステムであり、県とこのシステムの共同利用に関する契約を締結し、導入しています。

質 落札業者及び各応札業者の入札価格は。

答 落札者は藤田建設(株)で2

す。

質 盛大に宣伝を含めた「こけらおとし」として、スポーツイベント計画が必要と思うが、市長の考えを伺います。

答 「こけらおとし」として

億6851万8000円、(株)沢木組が2億6943万円、三和興業(株)が2億9365万円、(株)清水組は2億6800万円でしたが、失格判断基準の結果失格となったものです。

質 本工事の入札予定価格、調査基準価格、設計価格は。

答 設計価格は公表していません。入札予定価格は3億1460万1000円で、調査基準価格は2億6851万8000円です。

質 落札した藤田建設(株)の入札価格と市当局が定めた調査基準価格が全く同一価格だが事実なのか。

答 落札価格と調査基準価格は同額です。

質 全く同じという前代未聞の事実を市長はどう受け止め、疑問を感じなかったか。

答 入札にあたっては予定価格を公表し、調査基準価格の算定方法を規定し公表しています。これらをもとに積算し、入札したものと理解しています。

のイベントは、現在、関係者と協議を進めているところで

【その他の質問】

● これからの観光について
● 椿サミットについて

質 市民の血税を使い、公共工事の発注においては、極めて公正・厳正・透明性を求められるが、今回の現象は市民の理解を得られると思うか。

答 本工事の入札結果は公表基準に基づき、公表した日の翌日から翌年度の3月末日まで閲覧できるほか、入札情報サービスでも公表し、透明性を確保しています。

質 私は、市民は全く理解できないと思うが、どう説明されるのか。

答 本工事の入札結果については公表し、透明性を確保しています。

質 この入札において、事前に情報漏れはないと思うがどうか。

答 情報管理については、予定価格を記入後封印し、入札当日まで金庫に保管しています。

一 質



佐藤 誠 議員

防災について

質 ①防災無線やサイレンが聞こえない地域を把握しているか。②防災無線増設の考えはあるか。③男鹿は特に津波時に高台避難を伝える特別なサイレンの音を早急に市民に徹底周知すべきではないか。④来年の海フェスタへの何十万人の来訪者をどのように守るのか。他に避難誘導するシステム導入の考えはあるか。

答 ①防災無線が聞こえないという指摘は21件把握していますが、サイレンが聞こえないという苦情はありません。②子局の増設については検討してまいります。③大津波警報のサイレンは3秒吹鳴、2秒休止の繰り返しとなっています。今後、自主防災組織の訓

練などにおいて、広く市民へ周知を図ります。④海フェスタ等の来訪者に対する災害対策については、現在試験段階のスマートフォン活用の避難誘導システムなども検討しながら協議してまいります。

公共交通見直しについて

質 民間バス路線の撤退や、減便を補てんするために、市

は年間1億円近い金額を投入しているが、実際の乗客は少なく、ほとんど空気を運ぶ「空バス」が多い。平成21年3月に地域公共交通活性化協議会で策定した「男鹿市公共交通総合連携計画」では、交通空白地帯を作らないこととなっているが、高齢でバス停まで行くのも大変だが、タクシーは高く使えない。日々、空白域は広がるばかりである。また、他に足がないので、高齢になっても免許返上ができない人もいる。早急に、乗り合い式タクシーのように低料金で戸口から戸口まで送ってくれる需要応答型（デマンド式）を市の公共交通として取

り入れていく必要があると思う。費用面でも、今より相当経費が削減されると思うが、市長の考え方を伺います。

答 男鹿市地域公共交通活性化協議会には各地区の代表や男鹿市に関係する全ての団体が入っており、その中で協議されているものです。

地場産品の販売方策について

質 ①市長は地場産品販売センターの話になると、男鹿には売れるものがまだ少ないと言ってきたが、今もその認識な

のか。もし、地場産品販売の魅力的な場所の提供もしないのであれば、既存商店や、店舗併用住宅等に対するリフォーム補助はできないか。同時に、就業のために、市民が販売力や営業力を身につけるセミナーなどが必要ではないか。②交流人口を増やして定住人口につなげるというのはどういうことか伺います。

答 ①地場の農水産物の生産状況からみて、年間を通じて販売することは厳しいと見ています。市内の店舗、事務所等のリフォーム補助について

は、需要を調査し、分析していきます。実践セミナーは市でも開催しているもので、利用していただきたい。②交流人口を増やして定住人口につなげるということは、男鹿市に來た人が定住することによってではなく、消費活動によって雇用を生むほどの経済基盤ができてくることにより、定住者が出てくるということです。

【その他の質問】

●ゴミ処理費削減について
●イベント参加促進について

防災会議条例の改正点は

質疑 男鹿市防災会議条例及び男鹿市災害対策本部条例の改正内容について伺います。

答 防災会議条例については、防災計画の策定と、その推進等について定めています。改正内容としては、市長の諮問に依りて、市の地域に係る重点事項を審議することと、重点事項に関し、市長に意見を述べることなどが新たに加えられることによって、今後防災に関する基本方針や、防災に関する施策の総合調整などについて審議することとな

ります。また、来年度は防災計画の見直しが予定されていることから、その内容についても審議されることとなります。

さらに、防災会議の委員構成については、現在20名となつていますが、30名以内に改めるもので、新たに秋田大学教授、自主防災組織の代表、老人クラブ連合会会長、障害者団体の会長及びPTA連合会会長のほか、市からは副市長、産業建設部長などを加えて30名とする予定となっています。

質疑議員

三浦 桂寿
佐藤 巳次郎
吉田 直儀
三浦 利通

議案 質疑

保育園
指定管理者制度導入へ
法人化による効果は

質疑 男鹿市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正及び男鹿市保育園条例の一部改正に関連して伺います。

①法人の名称、役員、体制及び設立時期について伺います。
②法人の保育士等の給与、手当等をどう決定するのか。
また、法人と職員の協議機関を設置すべきと考えるがどうか。

③市職員（保育士）は、法人への派遣としているが、市の一般事務を希望する職員がいるのか伺います。

④現在の臨時職員の採用試験の実施時期はいつ頃か伺います。

⑤法人設立出資金については、市から5000万円となっているが、法人役員は出資しないのか。出資金を求めないのか伺います。

⑥法人を設立して指定管理者制度を導入することが、将来市にとって保育・教育に本当にプラスになるのか。具体的に市で捉えているものがあれば示していただきたい。
また、財政的に人件費を抑

えるがための手法に過ぎないとの市民からの指摘もあるが、指定管理者制度の将来的なあり方も含め伺います。

答 ①法人名は「社会福祉法人男鹿保育園」と予定しています。

事務所の位置は、船川北公民館内とします。

法人設立時期は、本年10月末か11月初旬を予定しています。

体制については、役員として理事6名、監事2名、職員は設立当初事務局長と事務職員2名、来年4月から事務職員4名体制にしたいと考えています。

②法人の給与等の規程を作り、給与・賞与・各種手当・退職金等を決定したいと考えています。

協議機関については、法人と協議しながら協定書に盛り込んでいきたい。

③派遣職員については、法人と市の協定書の中で決定したい。

一般事務への希望については、今後説明会を開催し意向調査をしてまいりたい。

④採用試験は来年1月を予定しています。



北浦保育園

は、指定管理者制度ということから出資は求めません。

⑥保育園の指定管理については、他の部門の指定管理とは異なる面がありますが、保育園には保育指針というものがあることから、業務については従来と変わらないものと考えています。

また、法人化の最大の効果として、現在同じ保育業務をしながら市の職員と臨時職員の賃金が大幅に違う中で、来年度からは、法人化することで待遇改善が図られ、働きやすい職場環境になるものと考えています。

さらには、保護者のニーズが大きく変化してきている中で、より良い保育環境が図られるなど、保護者のニーズへの柔軟な対応が可能になると期待しています。

予算特別
委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された、一般会計補正予算及び介護保険特別会計補正予算について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。
一般会計補正予算の質疑された中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

防災行政無線について

質疑 防災行政無線子局移設工事の内容と、今後新たに移設や増設の予定があるものか伺います。

答 今定例会に提案している防災行政無線移設工事費210万円の内容については、平成16年に廃止された旧若美中央保育園が、今年度解体され、更地とする計画となっているもので、この敷地内の子局1基を移設する必要があると見えます。移設先としては、若美幼稚園敷地内を予定しています。

また、今後の移設・増設計画については、市では現在、具体的に計画している地区はありませんが、聞き取りにくい地区については、スピーカ一の音量や向きを担当職員が現地に出向き調整しているのが現状です。

熱利用システム事業化

可能性調査業務について

質疑 熱利用システム事業化可能性調査業務委託料150万円の減額理由と、調査検証結果における今後の活用方法について伺います。

答 本事業は、国の「緑の分権推進事業」を活用し、平成22年度から23年度までの2カ年にわたって、「温浴ランドおが」隣接地において、温泉熱を利用したヒートポンプシステムを活用し、小松菜、ホウレンソウ、甘草などの野菜栽培の実証実験を実施したものです。

本事業は、平成23年度で終了しましたが、今年度も引き

続き、本事業の委託先である「NPO法人秋田地熱利用事業ネットワーク」会員の方々から、事業化に向けて取り組みたい旨の申し出があり、事業化の目処がつくまでの実証実験という名目で150万円を予算措置していたものです。しかしながら、本年4月4日の暴風被害により、施設が大きな被害を受け、野菜栽培を継続できない状況となったため、本事業に係る委託料150万円を減額補正する予算案を提案したものです。

鳥獣被害防止計画

策定業務について

質疑 ①同計画における対象鳥獣並びに鳥獣による市内の被害状況について伺います。
②防止計画の年度目標と調査後の対応について伺います。

答 ①鳥獣被害防止計画による対象鳥獣については、カラス、アナグマ等となっています。

また、今年度の被害状況については、若美地区において、

販売用のスイカ3ヘクタール、スイートコーン2ヘクタールを作付けされている中で、スイカでは多いほ場で40個程度の被害を受けています。

②今定例会に予算計上されている本調査業務により、被害作物、被害場所、被害面積、被害額及び対象鳥獣の生息場所等について、各農家へアンケート調査を実施するなどしながら、現地確認を行い図面等を作成した上で、鳥獣被害防止計画を策定するものです。

なお、本計画を策定するにあたっては、県をはじめ、生産者、JA及び猟友会などで構成する有害鳥獣等被害対策協議会を設置し、具体的な計画を策定することとしており、平成25年度からの実施を予定しています。

市内の認定農業者

40名が参加

質疑 「全国農業担い手サミットinあきた」における補助金内訳と参加を予定している市内の認定農業者数について伺います。

答 本事業は、本県において全国の農業者が一堂に会して10月31日から11月1日までの期間で開催されます。全体会は、秋田県立武道館で開催

されますが、地域交流会については、県内12地域に分散され開催されることとなっています。参加者数は2500名ほどで、本市では男鹿温泉郷において、全国から約80名、市内からは約40名の認定農業者が参加予定となっています。

なお、本事業に係る補助金の内訳については、サミット実行委員会への補助金10万円であり、市内から参加する認定農業者約40名の参加費補助のほか、全国からいらつしやる方々に対して、なまはげ館の入館料を助成したいと考えています。

国民文化祭開催

平成26年度
国民文化祭事業別企画



ジオサイト（安田海岸）

委員の構成と、本市で開催が予定されている主な事業について伺います。

答 平成26年10月4日から11月3日までの期間、秋田県で初めて開催される「国民文化祭」については、県内25市町村で65の事業が予定されています。本市においては、本年8月20日に実行委員会設立総会及び第1回目の総会を開催しました。

今定例会に計上している「国民文化祭事業企画委員報酬」の内容については、本市において、「全国なまはげの祭典」、「大地に学ぼうジオパークの祭典」及び「全国吟詠剣詩舞道祭」の3事業の実施を予定しているもので、それぞれの分野に6名の事業別委員をお願いしています。

委員の構成については、関係職員2名のほか、外部委員4名の合計18名の委員を予定しています。主な事業内容としては、「全国なまはげの祭典」については、全国各地の類似した面等の展示や「なまはげフォーラム」の開催などを予定しています。

秋田の地魚加工品

開発等について

質疑 「秋田の地魚加工品開発・販売促進特別対策事業費補助金」の具体的内容について伺います。

答 本事業については、加工品開発として、ワカメを塩蔵するための機械の購入に伴い、秋田県漁業協同組合北浦総括支所に対し、県が2分の1、市が4分の1を補助するものです。

また、「戸賀浜かあちゃん」の番屋グループに対しては、同グループでは加工も含めた事業展開を進めたいという意向から、冷凍庫及び魚焼き器並びにイベント等での販売を目的としたテント購入費について、県・市ともに3分の1を補助する内容となっています。

【その他の質疑】

- 共聴施設整備工事の事業内容及び財源内訳について
- 社会福祉法人運営費補助金及び設立出資金の内容等について
- 市営住宅修繕料の工事内容について

などの質疑がありました。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案と所管の予算案を審査し付託議案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

質疑 空き家対策に関する条例制定等の取り組みについて伺います。

答 現在実施している危険廃屋調査により実態を把握したうえで、今後、廃屋の解体等に関する条例制定に向けて取り組み、12月定例会には提案したいと考えています。また、廃屋解体への補助等についても現在、調査研究しているところ です。

質疑 来年の海フェスタ開催について、来場した方々が興味や関心を持つような、盛り上げりのある全国レベルの催し物の企画が必要ではないか。

答 現在様々なイベント等を事務局でも検討しています。海フェスタ開催にあたっては、海に関する全国の祭典

であるという制約もあります。しかしながら、地域の活性化という観点を重視して魅力あるイベント等を企画してまいりたいと考えています。



海フェスタフラッグ

質疑 路線バスや市単独運行バスについては、市民の方々が利用しやすい運行体系となるよう検討すべく、これまで一般質問や本委員会でも取り上げているが、今後の取り組みについて伺います。

答 現在の市単独運行バスの運行体系については、秋田中央交通が撤退した路線を今後どうするかということ で、

様々な方々の意見等を踏まえ、地域公共交通活性化協議会において協議し、公共交通総合連携計画を策定しているものです。この計画に基づき、デマンド方式や定時定路方式で運行していますが、現在の運行体系が十分であるとは考えず、今後様々な先進地の事例等を実態調査し、本市の現状にあったものを導入できないか検討してまいります。

教育厚生

質疑 保育園への指定管理者制度導入に伴う、市職員(保育士)と法人職員の給与等、待遇格差改善の考え方について伺います。

答 法人職員の給料については、市職員と同程度まで引き上げることとは困難ですが、市職員と同様の諸手当の支給や退職金制度への加入を考慮した給与規程としたいと考えています。

質疑 安心して子供を産み、育てる環境づくりとして、夜間保育及び休日保育の実施・充実が必要と考えているが、その考え方について伺います。

答 夜間保育については、これまで検討してきた経緯もありますが、保育園で夜間に子どもを預かるためには、通常の保育園とは別の施設として、夜間保育専用の保育室や入浴設備及び職員の仮眠室などが必要となることから、現状の保育施設では設備面で対応できない状況です。

また、休日保育については、現在、船川保育園など4園で実施しており、利用時は最低2名の保育士の配置が義務づけられていることから施設の管理面から、できる限り市職員が対応しているところですが、現状ではシフトを組むのが難しい状況にあります。指定管理者制度導入後は、法人の正職員が増加することにより休日保育に携わる職員体制も充実することから、サービスの向上につながるものと期待しています。

産業建設

質疑 6次産業化に向けた取り組みについて伺います。

答 6次産業化に向けた取り組みとして、戸賀浜グループによる地魚加工のほか、構造改革特別区域法を活用した「どぶろく特区」として、米農家でレストランを経営して

いる飲食業一団体がどぶろく製造に取り組んでいるところ です。これら取り組みは、小規模ではあるが生産者所得の向上につながるほか、雇用を生み出す新たな事業展開でもあることから、今後計画的な推進に努めてまいります。

【6次産業化とは】

生産と加工・販売の一体化や地域資源を活用した新たな産業創出をいう。

所管報告

■農林水産物の放射性物質検査結果と今後の検査予定について

農産物については、7月5日に露地栽培メロン、9月3日に和梨、同月14日に玄米を検査したところである。

また、水産物については、4月から9月までの間、船川沖と北浦沖で水揚げされた、カレイ、赤エビ、マダイ、ヒラメ、ブリなど10種類の魚を検査した結果、農産物及び水産物において、放射性ヨウ素や放射性セシウムは検出されなかったものである。

今後は、10月にサケ、底引きのハタハタ、来年2月には養殖ワカメの検査を予定しているものである。との報告があったものです。



議会報告会を9地区で開催！ ～ 市民190人が参加～

議会基本条例が制定され4月からスタートすることになり、3月定例会等の内容などを中心に市民と市政・まちづくりについて直接意見交換するため、年1回議会報告会を開催することとしています。

報告会は、7月14日から25日までの間、9地区で開催されました。その中で、市当局に関わる事項については、若美総合支所や各出張所等で閲覧できます。なお、議会に対する意見・要望のあった主な内容についてご報告します。

【議会報告会に関する事項】

- 議会基本条例制定は良かった。
- 議会報告会開催については、大変良いことだと思う。
- 議会報告会の開催周知はどのように行ったのか。
- 報告会会場にテーブルを配置すべきではないか。
- 説明資料を作成し、提示していただきたい。
- 報告会の開催回数は年1回では少ないのではないかな。

【議会運営等に関する事項】

- 議会活性化に向け、傍聴者増を図るためのPR等が必要ではないか。
- 本会議への市当局出席人数が多いと感じているが、改革が必要ではないか。
- 夜間に本会議を開催して欲しい。
- 議員報酬額が多くはないか。定数や報酬について、議会で検討しているのか。
- 基本条例の説明会の際にもあったが、市の主催する会議や諮問委員会等への参加状況は。

【市の政策等に関する事項】

- 議会として取り組み、市当局に働きかけていることはあるのか。
- 国道101号線整備促進について、男鹿中振興会でも要望しているが、議会では県や県議会等へ働きかけをしているのか。
- 若者の引きこもり対策について、市当局に対し、どう働きかけているのか。また、そのような若者が増加しており、議会として何らかの対応をすべきと思うが。
- 震災がれき受け入れについては困難とのことだが、日本海中部地震時に大変お世話になったこともあり、何とか対応できないものか。議会でも納得したのか。
- 4月4日の暴風被害後、議員は被害状況を確認したのかどうか。
- 総合運動公園多目的広場整備事業について、なぜ

賛否が分かれて投票採決に至ったのか。

- グラウンドゴルフ場の新設についての請願採択、さらには施設整備への協力を求める。
- 男鹿東中学校改修工事については、予定額と落札額が同額であったと聞いているが、それが事実であれば特別委員会を設置し調査すべきではないか。
- 敬老会については、出身地以外へも議員の出席を求める。
- 災害時における倒壊・破損の恐れのある廃屋に対する議会の考え方は。

※以上のような意見・要望等に対する回答については、報告会会場においてお答えしていますので、ここでは省略します。

【議会としての総括と今後の取り組みについて】

五里合地区で出された意見の中で、賛否が分かれて議決されたことについての意見があったが、基本条例では、市当局の提出議案に対する個々の賛否を「議会だより」等で公表することとしている。

今回出された意見は、市当局が良として提案していることに対し、どのような理由で、なぜ議員から反対が出るのかということであった。

この意見は、よく言われる議会の役割と市当局との関係を問うている大事なことと思う。今さら言うまでもないが、議会は地方公共団体の具体的政策を決定する意思決定機関であり、そして執行機関の行財政運営や事務事業の実施が適法・適正、しかも公平・効率的になされているかどうかなどをチェックする、いわゆる監視機関である。よって時には批判が出たり、さらには反対もあり得る。ましてや議員定数20人（現在19人）もいれば様々な立場から議論がなされるのは当然と言えるし、そこが議会の役割・機能とも言えよう。

また、市長と立場・権限は異なるが、民意の反映という点では同じであり、お互いに尊重・重要視しながら議論し決定していくこととなる。

いずれにしても市民が関心を持ち、このような場に積極的に参加することは、本来の住民参加の行政のあるべき姿と言えるのではないかな。

議会においても、今年度初めて実施した報告会で、資料の提示や実施回数等、対応可能なものについては、今後速やかに改革しながら、議会の活性化につなげていきたいものです。

たくさんのご意見・ご要望、ありがとうございました。

請願

● 常設の公認グラウンドゴルフ場の新設についての請願書

採択

陳情

● 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について
「自治体の裁量による船員

意見書

● 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書
可決されたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

● に係る住民税軽減措置の実施」の申入れ
● 常設グラウンドゴルフ場の新設請願についての要望書

議会の豆辞典⑦

■ 議会全員協議会

地方自治法では、議会は会議規則の定めるところにより、議案の審査又は議会の運営に

わるもので特に協議又は調整が必要な事項の協議をすることを目的として、議会全員協議会を必要に応じ開催しています。協議会の招集権者は議長で、全議員が構成員となっています。

議員は公職選挙法により、選挙区内で答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことはできません。皆さんのご理解をお願いいたします。

市議会議員一同

交通安全啓発を実施
交通安全推進議員連盟

市議会交通安全推進議員連盟は9月27日に恒例の交通安全啓発を実施し、各議員は3班に分かれ市内の保育園等を訪問し、園児たちに交通安全の大切さを呼びかけました。



平成24年12月定例会日程（予定）

月	日	曜日	会 議 名	主 な 内 容
12	6	木	本 会 議	市長提出議案上程（提案理由の説明）
	10	月		一般質問
	11	火		一般質問
	12	水		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託
	13	木	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	14	金	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査（総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会）
	17	月		
	20	木	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
			議会運営委員会	最終日の運営について
			本 会 議	各委員長報告（総務・教育厚生・産業建設・予算特別）質疑、討論、表決

編集後記

▼ 9月に入っても30度を超える厳しい残暑が続く、体調管理に市民の皆様も大変ご苦労されたのではないのでしょうか。好天に恵まれ、稲刈りも10月に入り終盤を迎えました。作柄も良いとのこと、農家の皆様本当にご苦労様です。

▼ 9月2日には当市出身の映画監督・岩崎雅典氏より、自ら制作した映画作品のビデオや男鹿を題材にした作品の16ミリフィルムなどが寄贈されました。小中高生の学習に大いに活用を望むものです。

▼ 韓国との竹島問題にはじまり、日中国交正常化40周年の年に尖閣諸島問題で緊張状態が続いている。それぞれの国の発展をもたらす解決を祈る。

▼ 大相撲9月場所所2場所連続優勝を果たした大関日馬富士が横綱へ昇進。当市でも9月8日、市相撲場にて第20回男鹿市小中学生相撲大会が開催されました。男女とも大変熱の入った取り組みに、大きな声援とともに、選手一人一人に励ましの拍手を送っていました。今後のご活躍を期待します。（蓬田）